

## 和歌山県ダンススポーツ連盟について

平成27年1月1日

和歌山県ダンススポーツ連盟 会長 岩橋 實亮

当連盟の活動拠点は、本州最南端でもある潮岬を南限に、東は新宮市、北は弘法大師空海の縁の地高野山。新宮市から国道42号線、海沿いに観光地があり、捕鯨で知られる太地町・串本町の橋杭岩・温泉では勝浦・白浜・竜神。紀伊国屋文左衛門が紀州みかんを積み江戸(東京)に船出した下津町。そして毎回競技会が開催されています和歌山市です。

和歌山県ダンススポーツ連盟をご紹介します。

平成8年に協会が設立し、平成14年に連盟となり、私が平成19年より会長を務めさせていただいています。

県の体育協会には平成16年に加盟が叶い、年2回開催します競技大会には知事杯も頂戴しています。競技・生涯スポーツ・またジュニアの育成に取り組み、有望な会員には、競技会開催するにおいて資格を得るため推薦し勉強して頂くように取り組んでいます。和歌山県は政治においても保守的でダンスに関してもなかなか地域に根付くのが大変難しい気がしており、市町村の体協にできるだけ溶け込み、大会後の掲載している新聞等持ち込みPRしています。

連盟の会員数も23年ころまでは全国的に人口割りからいけば上位の方に入っていましたが会員も段々高齢になってきており、27年の会員数は約400名くらいになるのではと、危惧しています

連盟が県庁所在地に来ましてからも、ダンススポーツ技術認定会を第8回までは実施できましたが、次回からの技術認定会は新規会員の拡大も難しく今のところ未定です。

当連盟では4回のダンスフェスティバルを開催し終了後役員会を開催し、またダンススポーツの勉強会を役員は勿論のこと指導員・認定員・一般会員・全サークルに呼びかけて実施しています。

当連盟では今年第23回都道府県対抗「全国ダンススポーツ大会」と設立20周年を迎える大きな事業がございます。この大事な事業と会員拡大に向けて邁進していくのみです。